



ゆめに向かう『やる気』ゆめをかなえる『本気』何度でもやり直す『根気』

輝け！口石っ子

佐々町立口石小学校 学校便り

令和4年1月11日 29号 文責 校長 岩下裕之介

あけましておめでとうございます。
今年「寅年」。学年のまとめをしっかりと行い、よい年にします！



うんと 良い年にしよう。

としの始めに決めて

でっかい夢を

めいじんと言われるほどがんばります。
(べんきよう名人・あいさつ名人)

お家の方や地域の方から

てにする。

しあわせを

まえむきな気持ちをもって

けんこうで

あいがあふれる口石小の子どもたちは

あけましておめでとう

口石小学校の子どもたちへ

皆様、新年 あけまして おめでとうございます。

1月11日（火）

令和4年（2022年）の学校の幕開けです。

17日間の冬休みを終え、新しい年を迎えた口石小学校の子どもたちが、学校へ戻ってきました。冬休み中の子どもたちの学習や生活を見守っていただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

さて、冒頭の詩をご覧ください。

口石小学校の子どもたちに、新年を迎えた新鮮な気持ちを伝えたくて作ったオリジナルの詩です。「あけましておめでとう」のそれぞれの文字を、頭にして作ってみました。

- ・健康であってほしい。
- ・幸せあってほしい。
- ・勉強名人、あいさつ名人の姿をたくさん見せてほしい。
- ・夢（目標）をもって、本気でがんばってほしい。

口石小学校の560名の子どもたちみんなが、今年も「すごいね。」「さすがは口石小学校の子どもたちです！」とたくさんほめていただけるように、本気を出してがんばって、もっと良い年にしてほしい。そんな願いを込めました。

今年「寅年」

寅年は、「春の陽気を孕み、新しい生命が胎動する」とされています。冬枯れていた大地に春が到来し、芽吹きが始まる頃。世の中のさまざまな分野で、新しいスタートが始まるとされます。

また、動物を当てはめた十二支では、猛獣の「虎」年になるため、非常に強い運気の年であるといわれます。一昨年から続くコロナ禍で、私たちの生活は大きく変わりました。

しかし、今年強い運気で、子どもたちがさらに活躍する年にしていきたいですね。

そこで、学校では、**3学期は0学期、「まとめ、次の学年への助走期間、感謝の学期にしよう！」**をキーワードに、新たな気持ちでスタートさせたいと考えています。

- 1 **「すごいね！」「さすがは口石小学校の〇年生！」と言われる学年のまとめ**
 - **「勉強名人を目指す！」**と心に決めて、**テストで100点をとることにこだわる。**
 - **1時間1時間の授業を大切にし、「やったら出来た！」という経験をさせる。**
- 2 **「ありがとう！」「助かったよ！」という言葉があふれる学級づくり**
 - **「心を見がく一日一善」の具体的な姿を子ども自身の言葉で語らせそれを目指す。**
「目は心の窓」 アイコンタクト＝愛コンタクト
「先生や友達の良いところを見つけよう！」という気持ちで対話をし、①「アイコンタクト（愛コンタクト）」②「あったかことば」③「反応」は特に大切に！
 - **落ち着いた学校生活**
- 3 **残り3か月で上級生（中学生）になるという自覚**
 - **下級生から「あこがれの気持ち」をもたれる上級生とは？**
 - **上級生になるために自分で実行することを決めて、クラスで実践（本気でチャレンジ、自分で分析、クラスで改善）**

上級生や本気でがんばっている友達の姿を見て、「自分もそうなりたい！」「この人を見習いたい！」という「あこがれの気持ち」を大切に、感謝の気持ちをもって今の学年のまとめをしっかりと行いたいと考えています。

ご家庭や地域でも、子どもたちが本気でがんばっている姿に気づいたら、「すごいね！」「ありがとう！」「助かったよ！」の言葉をかけてください。これは、全校の子どもたちの参考になる、あるいは、ぜひ紹介したいというエピソード等がありましたら、担任を通じて校長室までお知らせください。

口石小学校では、本気でがんばっている子どもたちを、たくさんの人たちで褒めながら、応援し、さらに伸ばしていこうと考えています。今後とも、子どもたちへの温かな声かけとサポートをどうぞよろしくお願いいたします。

年賀状の寄贈

佐々栄町通り商工協同組合（理事長 西尾 弘毅 氏）から、地域への還元事業として役に立てればと、全児童対象に年賀状を寄贈していただきました。「日頃お世話になっている方などに年賀状を書くことで、感謝の気持ちを書く良い機会になることを期待している。」というお言葉をいただきましたので、その意図を子どもたちに伝え、年賀状を書かせていただきました。メールでのやりとりが主流になった最近では、手紙やはがきを出すことがとても少なくなりました。そんな中、相手を思いながら年賀状を書く時間は、子どもたちにとって、とても貴重な機会となりました。ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

